



ご挨拶 (日本ログハウス協会会長/中川信治)

全国のログハウス協会会員の各社様、いかにお過ごしでしょうか？春爛漫です、「もちろん、地域によっては雪深い地域もありますよね、、、！」さて、久々の協会通信です！今回も、盛りだくさんの記事内容となっています。

協会では、大型物件の写真集の製作、ラミネートログのJAS化に向けた協議、ログハウスの温熱実験棟でのデータ収集、スクリュウジャッキの規格化、など様々な対応に、日々奮闘しています。また6月11日(月)にはログハウス協会の総会も実施されます！ぜひ、上記の内容の情報収集するためにも、総会に出席頂ければと思います。一人でも多くの参加をお持ちしています。

Topics 1

日本ログハウス協会では、国産材を使用した接着合せ材(ラミネートログ)の日本農林規格化(JAS規格化)に取り組んでいます！

日本におけるログハウスは、丸太組構法のオープン化から30年余経ち、多くの技術開発を重ねた結果、別荘用途から近年は住宅用途等へ広がり、同時に防耐火の認定なども取得をし、公共建築物等の建築も多く見られるようになりました。

一方、ログハウス材は国産材よりも、ねじれや曲がりが少ないことが特徴である欧州等から輸入したラミネートログが増えてきているのも現実です。国産材においては、無垢材を使用したログ材が生産・加工されていますが、ラミネートログ材の生産工場が未だ無い状況で、JAS、AQ等ラミネートログ部材に関する取組はされていませんでした。

日本ログハウス協会では、林野庁委託事業、補助事業を受け、ラミネートログ材の製作・曲げ試験等を行うなどJAS規格化に取り組んできました。本調査研究を進めるに当たっては「接着重ね材・接着合せ材JAS規格検討委員会(委員長：東京都市大学教授大橋好光先生)」を開催し、委員の方々に指導助言を頂くとともに、林野庁はじめ多くの方からの多大なご協力を受けてきました。

その中で、接着合せ材(ラミネートログ)のJAS規格化に関しては、JAS条文の規格化、強度性能データの分析などを行い、また乾燥方法の違いによる試験体制作を通じたデータ蓄積を図り、あるべき基準強度へ繋げることをしてきました。

現時点では、接着合せ材(ラミネートログ)のJAS規格化の取りまとめ等が終了したところです。今後はパブリックコメントなどを経てJAS規格化されることとなります。

ラミネートログのJAS規格化により、ログハウスの可能性が高まりますが、同時に品質管理を始め製造マニュアルの整備等に関しても取り組みが必要になります。今後もログハウス協会会員の方々のご理解、ご協力をお願い致します。

写真上段左より

- ①国産材の板材を接着材で貼りあわせたラミネートログ材を用いて曲げ試験を行った。写真は二枚貼りの試験体
- ②接着合せ材3枚貼り(イメージ)
ラミネート材は3枚以上も可能としている
- ③ラミネートログの曲げ試験。北海道林産試験場を含め3ヶ所で試験を行い、データの計測を行った
- ④スギのラミネートログ材をログ部材に加工したサンプル



Topics 2

平成30年度 ログハウス建築コンテスト 作品募集中です。締切迫る！4月18日まで

当協会が主催するログハウス建築コンテストは、日本国内で建築されたログハウス(丸太組構法及び丸太を多用して建築された建物)で 建築技術、地域材利用等の点において優秀と認められたものを顕彰し、ログハウスの普及・発展を図り、木材需要の拡大、森林資源の循環的活用の促進による地球温暖化防止及び 国民生活の向上に寄与することを目的としています。今年度より学生の方々を対象としたログハウス設計コンペ部門を新たに設置いたしました。応募要項に即したものであれば協会の内外、法人、個人を問いません。皆様ふるってご応募ください。 **応募書類受付締切：2018年4月18日(水)必着**
* 応募要項は当協会のホームページをご覧ください。応募用紙は、当協会のホームページからもダウンロードできます。

Topics 3 協会支部のご紹介 ① 関東支部

「いつかはログハウスを建てたい」という夢をもってもらうために…

昨年からログハウス協会関東支部の支部長に任命されました高原都市開発の野口と申します。中部支部ビ・ボーンの宮下社長から「どうだい野口君、支部長やってみない？」の一言からですが、ログハウスのお仕事をやってきたおかげで結婚もでき、子供が3人でき、しかも自宅はログハウスにて建築することができた!!今までほとんど協会のお仕事に参加してきませんでしたが、何らかの形で貢献したいなと思ってお引き受けさせていただいた次第です。いきなり支部長という立場は少々荷が重いですが関東支部を盛り上げていく一つの着火剤になれば幸いです。

関東支部の紹介を少しさせていただきます。関東支部では現在6都道府県22の会員様で構成されておりまして、全国で代理店・展示場を展開している大手の会員様が多いというのが特徴ですね。ログハウスのパイオニアとして現在までの流れをつくってこられた功績は大きいものがあり、協会と連携しながら様々な規制をクリアして総2階建てや防火規制のある土地等での建築を可能にしてきました。最近では3階建てのログハウスを建築した会社さんもございます。

ログハウス業界を牽引する会社さんが多い中で業界を盛り上げるために私は何ができるのか??

弊社は小さい会社で正直余裕がなく、自分の会社のことしか考えてなかった私ですが、ログハウス業界を盛りあげるお手伝いが出来れば結果はあとから少しずつついてくるのではないか!!と最近少しずつ思うようになりました。ことわざの「木をみて森を見ず」という言葉がぴったりあてはまりますね。まずは関東支部では横のつながりを少しずつ増やしていくために親睦会や勉強会をする場をつくりたいと思っています。前回のログハウス普及委員会で感じたことはログハウス協会に入会していることよってのメリットを会員各社様は知らないということです。実際私も知らないことが本当に多いです。そのような情報などを共有していき、様々なお客様の案件にこたえられるようにしていくことも今後の課題だと感じました。

これからの時代、少子高齢化で住宅需要は確実に縮小していくといわれています。しかしログハウス需要は比例して縮小していくとは限りません。皆様も日々感じられていることだと思いますがログハウスには夢やロマンがあります。一般住宅では感じられないことをログハウスではなんだか感じてしまいます。「いつかはログハウスを建てたい」そんな夢を応援できるようログハウスのすばらしさを一人でも多くの方に伝えられるよう努力していきたいと思っております。



高原都市開発株式会社
野口 展孝



発行

一般社団法人 日本ログハウス協会 事務局

東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 1F

TEL ■ 03-3588-8808

FAX ■ 03-3588-8829

Email ■ info@loghouse.jpn.com

<http://www.loghouse.jpn.com/>